

令和6年度 学力向上アクションプラン（概要版）

日田市教育委員会

令和6年度の目標及び指標

①児童・生徒の学力に関する目標

- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着
- ・思考力・判断力・表現力の向上
- ・学びに向かう力の向上

②経験年数の浅い教員の人材育成に関する目標

- ・経験年数の浅い教員の授業力向上
- ・管理職、教務主任等による校内指導体制の充実

達成指標

○令和6年度学校評価の4点セット整理票達成指標（学力）の評価（1学期末）の全小中学校平均値
→3.5以上（4段階）

○学期に1回のアンケートにおいて「自身の授業改善が進んでいる」と感じる採用10年目以内の教諭の割合
→85%以上

取組指標

○授業を行う全教員は、「新大分スタンダード」と自校の「授業改善5点セット」の「取組内容」に基づいて単元計画と本時案を作成し、11月までに公開授業（互見授業を含む）を実施する。

【単元計画と本時案を作成して授業を公開した教員の割合：100%】

○管理職または教務主任等は、授業観察シートをもとに、経験年数の浅い教員（採用10年以内）1人に対し学期に3回以上授業観察を行う。

【経験年数の浅い教員1人に対し学期に3回以上授業参観を行った学校の割合：100%】

※対象者がいない場合「学期に2回以上授業を行う教員の授業参観を行う」

【学期に2回以上授業参観を行った学校の割合：100%】

○各学校は計画的に互見授業を実施し、全教員が学期に1回以上自校の教員の授業を参観する（校内研を除く）。

【全教員が年間3回以上自校の教員の授業参観をした割合：100%】

○年に2回以上教務主任会または研究主任会を開催し、市の研究の重点を共通理解するとともに、各学力調査結果に基づく授業改善の協議等を行い、学力向上の取組の推進を図る。

令和6年度の行動計画

①新大分スタンダードの徹底に向けた取組

- ・4月に主幹教諭・教務主任会を開催する。
- ・9月に研究主任会を実施し、大分県学力定着状況調査と全国学力・学習状況調査の市教委による結果の分析と以降の具体的な対策について指導・助言を行う。
- ・ICT支援員の定期的・計画的な派遣（各校2週間に1～2回）により、授業におけるICT機器等の活用を推進する。
- ・「自立した学習者」の育成を目指し、「自立した学習者育成事業」推進校（中学校）を指定するとともに、単元内自由進度学習等の研修を開催し、取組の推進を図る。

②経験年数の浅い教員の授業力向上に向けた取組

- ・計画的な互見授業の実施を行う。
- ・管理職・教務主任等により、経験年数の浅い教員（採用10年以内）1名に対し、学期に3回以上授業参観を行い、事後指導・助言を行う。
- ・学期に1回経験年数の浅い教員（採用10年以内）へアンケートを実施し、自身の授業改善の自己評価を行う。
- ・各学校は、タブレット端末を活用して、学年部・教科部会等で適宜板書計画を共有して授業を行う。

③小学校・中学校英語教育の推進

- ・中学校英語教育推進校（北部中）を指定し、域内の英語教育の推進を図る。
- ・日田市小学校外国語部会に、各小学校から1名以上（英語専科教員を含む）所属し、授業研究の推進、教材の共有等を行う。
- ・市内全小学校6年生と全中学校1、2年生に民間テストを実施する。
- ・市内小学校外国語部会全教員及び中学校英語部会員は、それぞれの部会が開催する公開授業に必ず参加する。また、異校種の公開授業にも積極的に参加して小中連携を図る。

④小学校教科担任制の更なる推進

- ・小学校教科担任制推進のための専科教員配置校の取組（指導体制等）を全教職員が閲覧可能な共有ネットワーク上に掲示し、教科担任制の実践事例を市内小学校へ発信する。
- ・校長会、教頭会等で、市内実践校及び県内推進校の取組事例について情報提供及び学校の実情に応じた教科担任制の推進を行う。
- ・研究主任会において、小学校教科担任制について各校の具体的な取組の情報提供し、学校の実情に応じた教科担任制の推進を図る。

⑤「中学校学力向上対策3つの提言」の更なる強化

- ・教科担任複数配置校は教科部会を、小規模校は3つのグループ（戸山・東有田・大明）（前津江・津江・大山）（東溪・五馬）毎に、情報交換を月1回以上行い、授業・テスト等の改善を行う。
- ・「生徒と共に創る授業」を推進するために、全中学校は、生徒による授業評価を授業改善に反映させる取組を、教務主任・研究主任を中心に学期に1回以上行う。
- ・教科担任の「タテ持ち」又は「複数の同教科担任で学年部を指導する」体制をとる。
- ・「3つの提言推進拠点校」の取組の成果を市内中学校に普及するために、日田市全教員が閲覧可能なネットワーク上の掲示板やフォルダ及び各種協議会等で市内小・中学校へ情報提供する。

【用語の説明】

◇学校評価の４点セット

校長のリーダーシップの下、学校教育課題の解決に向けて組織的に取り組むために重点目標を
焦点化・具体化した上で作成する様式（重点目標、達成指標、重点的取組、取組指標の４点）

◇新大分スタンダード（※大分県教育委員会ホームページ参照）

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着に加え、「学びに向かう力」と「思考力・判断力・
表現力」の育成を目指す授業の在り方。（①「１時間完結型授業」②「板書の構造化」③「習熟の
程度に応じた指導」④「生徒指導の３機能を意識した問題解決的な展開の授業」の４つ）

◇中学校学力向上対策３つの提言

未来を切り拓く力と意欲を高める授業の実現を目指した、県内の全中学校で進める３つの提言
（①学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底 ②学校規模に応じた教科指導力
の向上 ③「生徒と共に創る授業」の推進）からなる中学校学力向上対策の取組。